

# 家族と離れて ～学童疎開・絵日記を中心として～

## 開催趣旨

このたび昭和館では「家族と離れて ～学童疎開・絵日記を中心として～」と題し、特別企画展を開催する運びとなりました。

戦争は子どもたちの生活にも様々な影響を与えました。本土空襲が予想されるようになった昭和19年(1944)、政府は都市部の国民学校初等科3年から6年までの学童を地方へ疎開させることを決定し、多くの子どもたちが見知らぬ土地で、両親と離れての生活を余儀なくされました。

本展では、学童疎開に焦点をあて、なかでも終戦までに40万人に達したという集団疎開をした子どもたちの生活はどのようなものであったのか、その出発から帰京までを、子どもたちが書いた絵日記を中心に、実物資料、写真を交えて紹介します。

## 記

- 【主催】 昭和館
- 【会期】 平成15年8月9日(土)から8月31日(日)
- 【会場】 昭和館3階 特別企画展会場
- 【入場料】 特別企画展は無料(常設展示室は有料)
- 【イベント】 ①語り部の会(学童疎開先での生活について体験者が語る)  
平成15年8月17日(日)  
②夏休み工作教室「万華鏡を作ろう！」  
平成15年8月17日(日)、24日(日)
- 【開館時間】 10:00～17:30(入館は17:00まで)
- 【休館日】 毎週月曜日
- 【内覧会】 平成15年8月8日(金) 15:00～17:00
- 【所在地】 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
- 【問い合わせ】 TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575
- 【交通(電車)】 地下鉄【九段下駅】から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4番出口)  
J R【飯田橋駅】から徒歩約10分
- 【交通(車)】 首都高速西神田ランプから約1分
- 【ホームページ】 <http://www.showakan.go.jp>
- 【その他】 有料駐車場有り(普通乗用車のみ・1時間200円)  
団体予約承ります

ブース構成

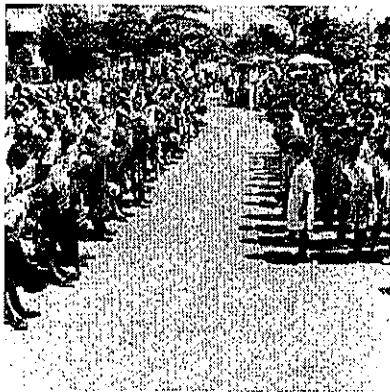
1 学童疎開とは

本土空襲が予想されるようになった昭和19年(1944)6月、政府は都市部の学童を地方へ疎開させる方針を打ち出しました。当初は縁故疎開が勧奨されましたが、疎開先がない学童も多かったためなかなか疎開は進まずに、集団疎開が実施されることとなりました。国民学校初等科の3～6年生が対象とされ、学童たちは地方の旅館や寺院などで、家族と離れての集団生活を送ることとなりました。空襲を避けての疎開でしたが、戦局の悪化にともない、疎開先も危険になり再疎開をしなければならない場合もありました。

疎開実施から約1年で終戦をむかえることとなりましたが、終戦は学童疎開の終了ではなく、被災した故郷の受入態勢が整うまで疎開生活は続きました。

このコーナーでは、実施に至る経緯から終了までの学童疎開の概要とともに、幼いわが子を学童疎開に送り出した親の思いを紹介します。

- ①学童疎開への道
- ②学童疎開の実施
- ③わが子の疎開
- ④疎開終了まで



学童疎開の第一陣の出発

昭和19年(1944)8月  
清水撮影(JPS)・昭和館所蔵



専用列車で出発する高田第五国民学校の児童たち

昭和19年(1944)8月  
田中義元撮影(JPS)・昭和館所蔵



疎開先での授業風景

昭和19年(1944)9月  
昭和館所蔵



疎開先での就寝風景(杉並第二国民学校)

昭和19年(1944)  
昭和館所蔵

## II 集団疎開の子どもたちの記録

昭和19年(1944)8月21日、東京女子高等師範学校附属国民学校(現お茶の水女子大学附属小学校)の学童たちは疎開先である北多摩郡東村山町の久米川(現在の東京都東村山市、小平市)郊外園に出発し、親元を離れての生活が始まりました。空襲の激化により、学童たちはさらに遠くに生活の場を移さなければならなくなり、20年4月には富山県西砺波郡福光町へと再疎開することとなりました。

再疎開から4ヶ月後には終戦を迎えますが、さまざまな事情から疎開生活はさらに半年以上続き、学童たちが帰京できたのは終戦から7ヶ月後の昭和21年3月でした。

このコーナーでは、学童たちの600日に及ぶ集団疎開生活の様子を、学童たちの書いた絵日記を中心に紹介します。

- ① 出発
- ② 疎開先での生活
- ③ 再疎開そして終戦
- ④ 帰京まで

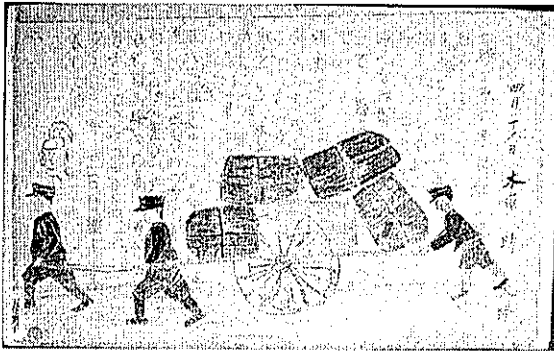


疎開学園を清く一日

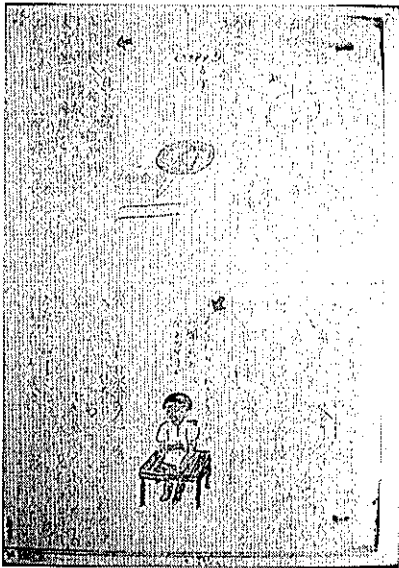
昭和十九年八月二十一日  
 今日はいよいよ出発の日です。朝出る時みんなにさよならと御挨拶をしておうちを出ました。学校で始業式をすましてから疎開をする人たちの壮かう式をしました。それがすんで、お教室へ帰って少し休んでから、お母様にお荷物を持って行っていただいで、私たちは高田馬場までみんなで行軍しました。  
 着くとお母様がここにこして荷物を持って待っていらつしゃいました。その荷物を受け取って電車に乗りました。久米川に着いてすぐ昼飯をたべました。とてもお腹がすいていたのでとてもおいしいでした。晩御飯も草原でいただきました。晩、豊島さんと同じおふとんでねました。



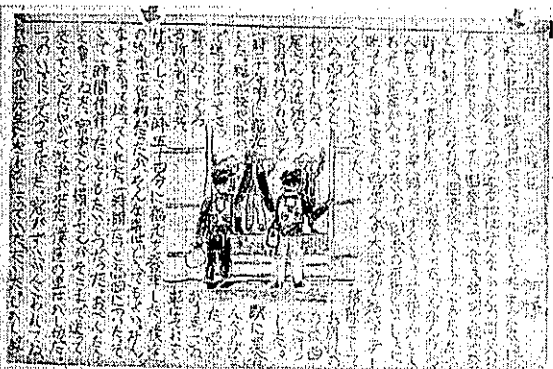
昭和二十年一月十六日  
 今日はお習字の時間がはって私は中川さんと中村さんとお道具を置きに行くこと飛行機の音にまじってサイレンの音を耳にした。  
 「あらサイレンぢやないかしら」と思ったとたん「ずどーんずどーんずどーん」と高射砲がつづけてなりだした。私たちはすぐ頭巾を持ってたいひした。二時間目に算数のメタルをいただいた。とてもうれしくなつてしまつた。日記をお出しして夜かへしていただいた。とびつううにしてひひやうを見た。おほめがあつたのでうれしくてたまらなかつた。お母さまに知らせたかつたけれど夜は筆書が出せなかつたので明日書くことにした。



昭和二十年四月十二日  
立野ヶ原の練兵所で目をきました。先生が「今日は荷物が来てゐるぞ」とおっしゃったのでみんなは声を立てて喜んで。  
朝食をすませてから所長さんにおわかれをして練兵所を出た。道は遠い。一里たつぷりある。五・六男はえきに荷物を運んだ。先生方のつかふくわは一ばん重かった。福光国民学校高等科の男子もつだつてくれた。かうして今日一日は楽しく暮した。



昭和二十年八月十六日  
今日、昼食後、情報があった。いつもとちがふ情報だ。まづ最しよ、日本が無条件降服をしなればならなくなつたのだ。それも原子爆弾といふ爆弾を作つたからだ。天皇陛下がラジオで放送されたこともくわしく話して下さつた。私たちは、皆なしせん、ほろほろと涙をながした。食器を洗つてから朝会があつた。午前中は、大東亜戦争終結の大詔を拝して、といふだいで感想文を書いた。午後は、前田寮にかへつて、お風呂に入った。とてもよい気持ちだつた。



昭和二十一年三月七日  
いよいよ東京へ帰る日が来た。うれしくてたまらない。起きるとすぐふとんをつつみ、送る物はみんなふとんの間に入れた。洗面器を入れてすぐ学校へ行つた。食後、講堂で福光校とけつ別式をした。(中略)一時二十分頃に福光駅に集合した。福光校や町の人々が駅まで送つて来て下さつた。雪が降つてゐて、せんろがうまつてゐる所があつたが、汽車はそれをけちらして十三時五十四分に福光を出発した。僕達の汽車は貨物だったが、そんな事はどうでもよい。みんな手をふつて送つてくれた。(中略)僕達の車はかし切だ。一つのいすに三人ずつすはつた。窓がすいぶんこわれてゐて寒いので、先生にきれをはつていただいた。(中略)明日はうちへつくだと思つてうれしくてたまらない。

## イベントの開催

---

会期中、下記の日程でイベントを開催します。

### 語り部の会

8月17日(日) 14:00～15:30

学童疎開体験者の方に、当時の生活やご苦労についてお話しいただきます。

13:30より昭和館1階ロビーにて受付。先着80名様に整理券をお配りします。

会場：九段会館 3階 瑠璃の間

### 夏休み工作教室「万華鏡を作ろう！」

8月17日(日) 11:00～12:00

24日(日) 11:00～12:00、14:00～15:00

会場：3階会議室

簡単な材料で小さなきらめく世界ができあがります。

○小学生を対象としており、親子で参加で参加していただきます。

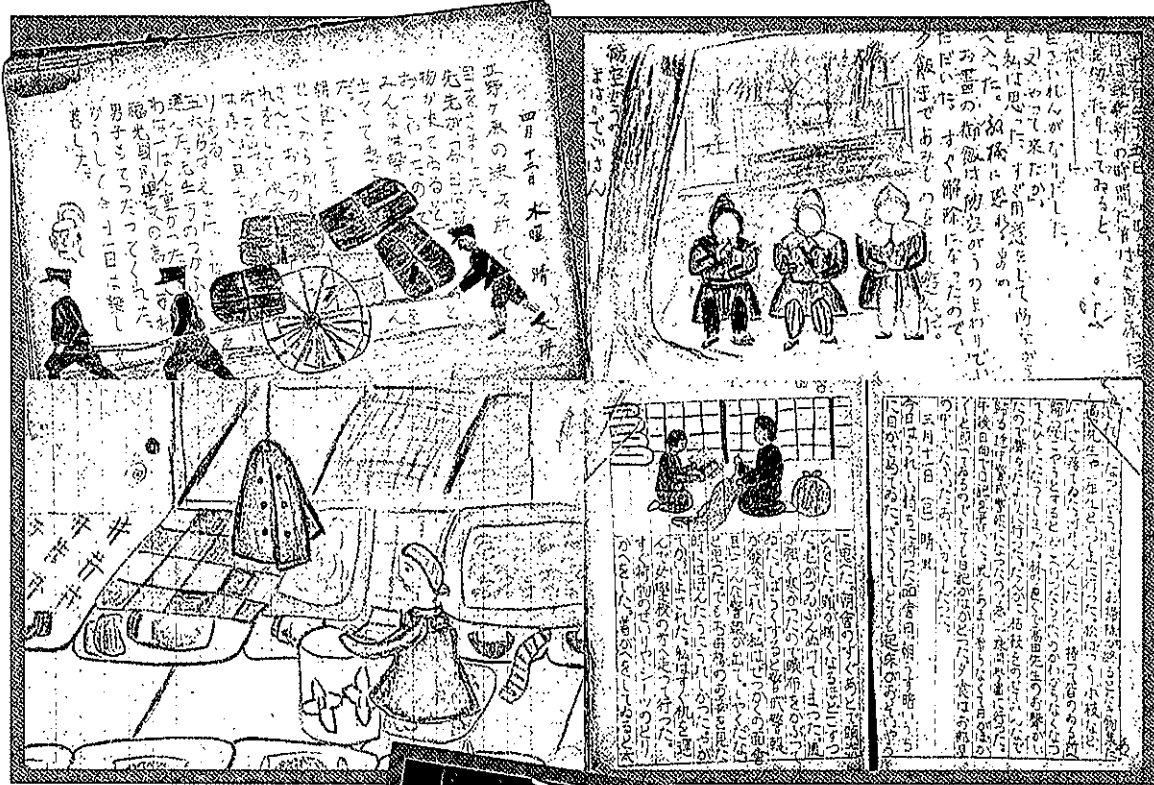
○各回の定員は親子10組、電話での予約が必要です。

○参加費は無料です。

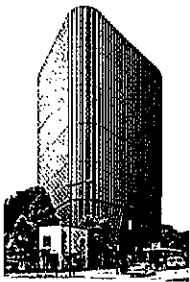
(連絡先：昭和館学芸部 TEL03-3222-2577)

# 家族と離れて

～学童疎開・絵日記を中心として～



「専用列車で疎開地に出発する高田第五国民学校の児童」  
田中義元 (JPS) 撮影



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1  
TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575  
ホームページ: <http://www.showakan.go.jp>

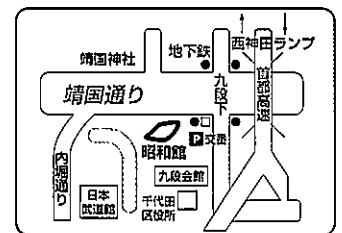
平成15年8月9日(土)～8月31日(日)

会場= 昭和館3階 特別企画展会場  
開館時間= 10:00～17:30(入館は17:00まで)  
休館日= 毎週月曜日  
イベント= 夏休み工作教室「万華鏡を作ろう！」  
8月17日(日)・24日(日) ※要予約

入場  
無料

語り部の会(体験者が語る学童疎開先での生活)  
8月17日(日) 14:00～15:30

団体予約承ります。  
7・6階では常設展示(有料)を行っています。



交通のご案内  
【電車ご利用の場合】  
地下鉄「九段下駅」から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4番出口)  
JR「飯田橋駅」から徒歩約10分  
【車ご利用の場合】  
首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)  
有料駐車場有り(普通乗用車のみ・1時間200円)